さんにち NIE ワークシート

山梨日日新聞

年　　組　名前：

川中島合戦に外国人〝参戦〟

笛吹の日本語教室受講者

笛吹市が市内在住の外国人らを対象に開いている日本語教室の受講者が、8日に開かれる、武田信玄、上杉謙信両軍による合戦シーンを再現する「川中島合戦戦国絵巻」に参加する。合戦シーンへの参加のほか、各国の文化を紹介するブースの出展を計画していて、受講者は「いろいろな国の文化に触れてもらえればうれしい」と準備を進めている。〈武田寛明〉

市市民活動支援課などによると、日本語教室は月に2～3回、市役所で開催。県国際交流協会の職員や日本語教師が講師を務め、2026年度は12の国や地域の出身者40人ほどが受講している。



「川中島合戦戦国絵巻」への参加に向けて準備を進める日本語教室の受講者ら
＝笛吹市役所

教室では昨年、受講者とイベント来訪者との交流や、教室の周知につなげようと、戦国絵巻にブースを出展。各国の言葉のあいさつを紹介したり、ゲームをしたりして来訪者と交流した。

文化紹介ブース 出展も

今回は受講者が兵士の衣装を着て合戦シーンに参加するほか、会場にブースを設け、イベントの題材となっている川中島の合戦（1553～1564年）にちなみ、受講者の出身国で1500年代にあった出来事や、当時の文化などを紹介する展示をする。

日本語教室の活動で各国の祭りの特徴について発表した際、フランスの祭りではアヒルの人形を釣る露店があるとの紹介があったことから、世界各地の魚などを描いた画用紙を釣り上げるゲームなども企画した。昨年に続き参加するフィリピン出身のアグネスマリー・オーステロさん（43）は「前回よりも深く、さまざまな文化を紹介できるといい」と意気込む。

10月25日の教室では、約10人の受講者らが展示のテーマを話し合い、「みんなつながっている」に決めた。初めて参加するチェコ出身のヤロスラフ・ノヴァークさん（33）は「川中島の合戦の時代には米国など多くの国が建国されていなかった。当時の日本以外の国のことを説明し、面白さを感じてもらいたい」と話している。

峡東
山本 武田　己 就 明 寛

（2026年11月5日付 山梨日日新聞14面）

問1 「川中島合戦戦国絵巻」では、だれとだれの合戦シーンを再現しますか。

……軍と ……軍

問2 笛吹市が開催している日本語教室には、何カ国、何人が受講していますか。

・国の数：……カ国　　・受講者数：……人

問3 受講者は、各国の文化を紹介するブースを出展します。その展示のテーマを答えてください。

……

問4 参加する二人の出身国を答えてください。

・アグネスマリー・オーステロ⇒……　　・ヤロスラフ・ノヴァーク⇒……

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2026 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.